

## 京都市クアラルンプール情報拠点レポート(2018年12月・2019年1月分)

### 1 統計

○訪日旅行者数(マレーシア)

・2018年12月 67,600人 (2017年12月 64,712人) (対前年比+4.5%)

・2019年1月 31,400人 (2018年1月 31,112人) (対前年比+0.9%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内ホテル対象宿泊実人数(マレーシア)

・2018年12月 2,479人 (2017年12月 2,362人) (対前年比-6.7%)

対象施設数:52 ホテル

・2019年1月 656人 (2018年1月 678人) (対前年比-13.4%)

対象施設数:54 ホテル

※出典 京都市観光協会・京都文化交流コンベンションビューロー「外国人客宿泊状況調査」 ※対前年比は総営業部屋数の差異を補正反映

### 2 市場動向

#### ■訪日外客数 (2018年11月・12月 推計値)

##### ◆訪日外客数 (全体)

11月 : 2,450,800人 (前年比 3.1%増)

12月 : 2,631,800人 (前年比 4.4%増)

##### ◆マレーシアからの訪日外客数

11月 : 55,500人 (前年比 6.3%増) ※11月として過去最高

12月 : 67,600人 (前年比 4.5%増) ※単月として過去最高

#### 考えられる要因

(11月) 機材変更や増便による航空座席供給量の増加や、前年は10月及び12月に設定されていた祝日が今年は11月に移動したこと等もあり、訪日者数は堅調に推移した。

(12月) 学校休暇時期と重なる12月には単月として過去最高となる 67,600人を記録した。

#### ■国内情勢

##### マレーシアの新国王が決定

マレーシアの第16代国王に、中部パハン州のアブドゥラ州王(59)が選出された。任期は5年で、順調に行けば2024年まで同氏が国王を務めることとなる。

今回の新国王選出手続きは、先にムハマド5世が自ら退位した事により進められたもの。国王が任期中に退位するのは、1957年のマレーシア建国以来これが初めてと異例のことだった。

## ■経済情勢、景況感

世界銀行が発表した「世界経済見通し」によると、2019年にマレーシアの国内総生産(GDP)の伸びは4.7%に達する見込みである。これは2018年の予測数値から横ばいとなる。

尚、世界全体の成長率は、2018年の3%から、今年は2.9%と緩やかに減速するとの見通しを示している。

マレーシアの特徴的な長所としては、教育水準が高めであること、非正規労働者が全体の25%程度の割合で維持されていることなどがあるという。

## ■日本関連イベントトピックス

### Japan Travel Fair 2019

JNTO が一般消費者向けの旅行フェア「Japan Travel Fair」を開催。

2019年1月10日~13日の4日間、KL近郊のショッピングモール「Sunway Velocity Mall」で開かれたイベントは日本の観光情報や旅行商品を求める多くの来場者で賑わった。

12日には、クールジャパン戦略担当の平井卓也大臣がイベントに登壇し、親日家として有名な女優 ジハン・ミューズ氏とトーク・セッションを行った。

